

東京学芸大学 先端教育人材育成推進機構外国人児童生徒教育推進ユニット
研修「多様性が活かせることばの教育2025」



研修 **A** 多様な言語的文化的背景をもつ 高校生のための学習環境づくり

2025年6月8日
10:00－12:30
オンライン開催

第**2**回 学習環境としての リソース(人工物)のデザイン

本資料の利用について

教育・研修を目的とした利用に限ります。資料としてご利用を希望する場合は、コンテンツの出典として「利用する資料等の作成者・執筆者」「利用する資料等が作成・公開された事業名」「コンテンツが示されているウェブサイトのURL」を明記して利用してください。部分的な切り取りや加工をして利用することは禁じます。

研修A 多様な言語的文化的背景をもつ高校生のための学習環境づくり

第2回

学習環境としてのリソース（人工物）のデザイン 趣旨説明

齋藤ひろみ（東京学芸大学）

2025年7月6日（日）

10:00-12:30

東京学芸大学 先端教育人材育成推進機構 外国人児童生徒教育推進ユニット
研修「多様性が活かせることばの教育2025」

確認（第1回研修資料より） 学習環境

山内祐平（2020）『学習環境のイノベーション』ミネルヴァ書房

社会の変化（不安定・不確実・複雑性・曖昧性）に学習目標は変化
高度な読み書き・計算・教科の知識の習得
⇒コンピテンシー（〇〇するための力）、非認知能力を重視
「自律・協調・問題解決」を基盤とした学習へ

環境との相互作用を通じて能動的に学習（知識形成）

物理的学習環境

A 空間

学校や教育施設の教室、学習のためのスペース（机・椅子・書架などの配置も）

B 人工物

（教材・教具）
筆記具・実験装置等の道具、ネット上のコンテンツ・システム、視覚表現形態等

社会的学習環境

C 活動

学習者にとって意味をもつ行為のまとまり、活動は連鎖的につながりシステム化を構成

D 共同体

（コミュニティ）
目標を共有する人々のつながり。主体的参加により構成された集団。アイデンティティ確立の過程で学習が生起

確認 活動デザイン 生徒の経験や力を活かす活動に

- ✓ 生徒の**共感的理解**を土台にした活動
生徒にとって意味のある行動可能な課題
- ✓ **探究し創造**する活動
- ✓ **協働し、課題を遂行**する活動



- ◎経験や学習で培ってきた力、多様性・個性・関心を活かせる
自己肯定感・自己有用感・自律性を得る：学習への動機付けに
- ◎学び方を学ぶ ⇒ 自律的な学び手に
- ◎仲間と活動に参加し課題遂行のために日本語（母語等）を使う
他者・社会と関わり・問題を解決するためのことばの力を高める

そのためにも

- ・ 学習環境の**他の3要素との包括的な検討**が必要
- ・ 教育者による上記を意図した計画・デザイン・支援が重要

学習環境として人工物と言語教育のリソース

環境との相互作用を通じて能動的に学習（知識形成）

物理的学習環境

A 空間

学校や教育施設の教室、学習のためのスペース（机・椅子・書架などの配置も）

B 人工物

（教材・教具）
筆記具・実験装置等の道具、ネット上のコンテンツ・システム、視覚表現形態等

社会的学習環境

C 活動

学習者にとって意味をもつ行為のまとまり、活動は連鎖的につながりシステム化を構成

D 共同体

（コミュニティ）
目標を共有する人々のつながり。主体的参加により構成された集団。アイデンティティ確立の過程で学習が生起

言語教育のリソース

物的リソース
（教材・教具）

人的リソース

社会的リソース

リソース（教材・教具）を学習環境として捉えなおす

教師が教える内容を提示・練習させるための材料・道具

→ 日本語を理解し・知識を得るのみならず、学習者は**能動的に働きかけ**、新しい意味や価値を見出したり、活用して新しいものを創造したりする。

★リソース（教材・教具）との**相互作用**を通じて学ぶ

ポイント！ どのような力を高めるためにどのような活動でどのように利用するのか。
→ リソースとの相互作用を通じ、日本語で協働して探究・創造する力が育まれるように。

参考：ICTを効果的に活用した学習場面



ねらいとする資質・能力 文部科学省 「外国人児童生徒等教育を担う教員の養成・研修モデルプログラム開発事業」の「豆の木モデル」（日本語教育学会2019）にもとづき、下表の資質・能力の向上を目指して、各回のテーマ及び内容を設定し、目標を具体化して、研修を実施する。

第1回	捉える力 育む力 変える力	エ 認知面の力と教科などの学力を年齢的な発達や学習経験を考慮して捉えることができる。 ク 子どもがどのような自己像を描き、どのように社会参加し自己実現ができるかを、社会の変化とともに展望することができる。 セ 学校内外の生活・学習に結び付けて、日本語や教科の指導・支援、内容と日本語を統合した指導・支援をすることができる。 ヒ 子どもが自身の多様性を支援にして活躍できる教育を実施し、多文化共生を促すことができる。
第2回	捉える力 育む力 変える力	ウ 子どもの言葉の力を、日本語と母語の両言語を視野に入れ、言語能力の多面性に留意して測定したり評価したりすることができる。 ク 子どもがどのような自己像を描き、どのように社会参加し自己実現ができるかを、社会の変化とともに展望することができる。 ス 子どもの日本語の力を考慮して教材等を選んだり作成したりしてリソースを準備し、学習参加を促すことができる。 ヒ 子どもが自身の多様性を支援にして活躍できる教育を実施し、多文化共生を促すことができる。
第3回	捉える力 育む力 変える力	キ 子どもの暮らしを地域の多文化化や外国人住民支援の状況に関連付けて把握することができる。 ク 子どもがどのような自己像を描き、どのように社会参加し自己実現ができるかを、社会の変化とともに展望することができる。 サ 子どもの母語、母文化、アイデンティティを尊重し、学級・学校・地域における社会参加を促すことができる。 ハ 外国人児童生徒等が地域にもたらす影響を多様性として肯定的にとらえられるように、マジョリティである受け入れ側に働きかけることができる。

研修A 多様な言語的文化的背景をもつ高校生のための学習環境づくり

第2回 学習環境としてのリソース（人工物）のデザイン

小西円（東京学芸大学）

2025年7月6日（日）
10:00-12:30

東京学芸大学 先端教育人材育成推進機構 外国人児童生徒教育推進ユニット
研修「多様性が活かせることばの教育2025」

1 生徒それぞれに応じたリソース

1-1 高めたい日本語の力を意識してリソースを決定する

日本語学習の3つの課題

- 1) 学校・社会生活への適応とコミュニケーションのための日本語の力の育成
- 2) 学習に参加し思考するための日本語の力の育成
- 3) 自己実現とアイデンティティの形成を支える日本語の力の育成

高めたい
日本語の
力

『高等学校の日本語指導・学習支援のためのガイドライン』 p.23

リソース選択の際に意識すること

- ・生徒の学習条件との適応（日本語の力、生徒のニーズ、取り組める時間など）
- ・授業実施の環境条件との適応（授業の枠組み、時間数、他の授業との関係など）

どのような力を高めるためにどんなリソースをどう使うのか

1-2 既存の教科書にそのまま頼ってしまうと・・・

- 1 教科書のボリュームが大きすぎて、授業時間内に扱えない
- 2 生徒の日本語レベルにちょうど合うものがない
- 3 教科書に載っている場面や語彙が生徒のニーズにあわない
- 4 先生が一人でモデル発話や解答解説をして、生徒が自ら考えて表現する場面がない
- 5 教科学習に必要な日本語の力につなげるのが難しい

すべてを一気に
解決する魔法の
方法はないです
が、ひとつずつ、
一歩ずつ…！

教科書はとても便
利なものだけど…

「どのような力を高めるためにどんなリソースを使うのか」
という観点から教科書を捉えなおし、アレンジする必要がある

1-3 教科書以外のリソースの例

1 いわゆる生教材をリソースにする

新聞、雑誌、ドラマ、アニメ、動画、ウェブサイトなどを
ねらいに合わせてアレンジ

2 生徒自らが作成した制作物をリソースにする

- ① 宿題で書いた作文の読みあい・意見交換、そのあと書き直し
- ② 各生徒が調べてきたことをシェアしあう
- ③ 生徒自らが何かを作る（学校紹介、部活紹介など）

生徒に合わせたアレンジができるのは先生がいるからこそ！

ねらい（高めたい力）にあわせて、素材を選び、アレンジする。

生徒のニーズを意識する

架空の設定ではなく、生徒自身が直面する問題や・直接関わる場面を設定をする

リソース活用例（１）アルバイトの情報

社会参加、コミュニケーションのためのことばの力を育む

必要な情報を読み取る力を高めたい

アルバイト情報を読む

時給・勤務地・勤務時間・シフトなど必要な情報を読み取る

意識する語彙表現例：時給（給与）・勤務地・勤務時間・勤務条件・シフトなど

自分のことを書いて表現する力を高めたい

アルバイトweb応募のフォームに必要な情報を入力する

意識して書く部分：氏名・フリガナ・生年月日など

社会的場面でのコミュニケーション力を高めたい

シフトを代わってもらうロールプレイ や 面接のロールプレイ

役立ちそうなフレーズ例：

急なお願いで申し訳ないんだけど…／シフトの時間代わってもらいたいんだけど…

今度〇〇おごるから。／お願いできないかな

アルバイト・パート 動画あり

マクドナルド アトレ大森店

9月12日(火)6:00
アトレ大森店
GRAND OPEN

新規オープニングスタッフ
100名大募集！！

友人紹介で5,000円買える！／オープニ
ング大募集！時給1,200円

詳しく見る >

職種 【ア・パ】 ホールスタッフ(配膳)、キッチンスタッフ

給与 【ア・パ】 時給1,200円～

勤務時間 【ア・パ】 10:45～18:00、14:00～20:00、20:00～23:30

シフト相談 週1～OK 週2・3～OK 週4～OK 1・2h/日 ～4h/日 未経験OK

主婦(夫) 学生 高校生 ミドル シニア

多い年齢層 低い 10代 20代 30代 40代 50代 高い

男女の割合 男性 女性

仕事の仕方 一人で 大勢で

職場の様子 しずか にぎやか

※応募バロメーター 人気上昇中！ 採用予定人数：大量採用中！

★ キープする 電話番号を表示する 応募する >

リソース活用例（２） 出入国在留管理庁のweb情報

自己実現するために社会制度を理解する力を育む

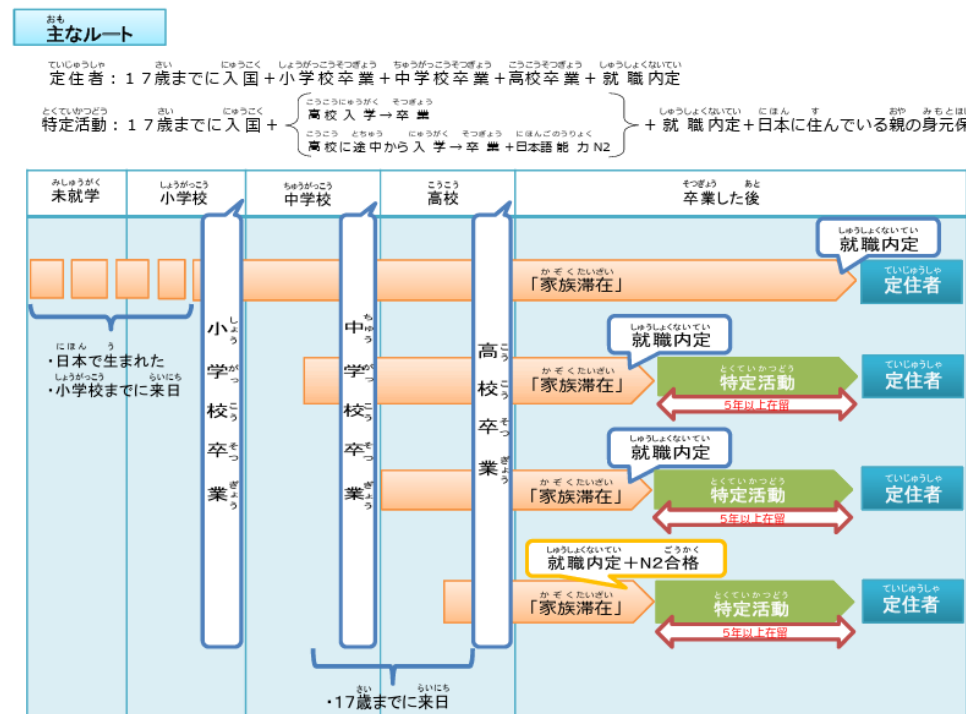
制度や公的システムに関する文書を理解する力を高めたい

出入国在留管理庁の在留資格に関する資料を読む
卒業後に進学や就職などをして日本で生活するために必要な情報を取る

出入国管理庁のウェブサイト

「「家族滞在」の在留資格をもって在留し、
高等学校卒業後に日本での就労を希望する方へ」：
https://www.moj.go.jp/isa/applications/resources/nyuukokukanri07_00122.html

意識する学習内容例：家族滞在などの名称、
書類の名称、など



リソース活用例（３）アニメ・推し（SNSやWebサイト資料）

楽しさを追求しつつ学習参加に必要な日本語の力を育む

思いや理由を説明する力を高めたい

好きなアニメや映画などのストーリーを紹介する、好きな理由を説明する

意識する学習内容例：順を追って話す表現・文脈指示・接続詞など

口語体、カジュアルな表現の練習

課題について調べたり、他者と意見交換する力を高めたい

SNSやWebサイトで推しや好きなアニメなどについて調べ、他の人の感想を読み、共感したり、異なる意見を知ったりする

意識する学習内容例：SNSを読む場合は口語的な表現

探究結果や意見を、所定の形式（新聞）のジャンルで伝える力を高めたい

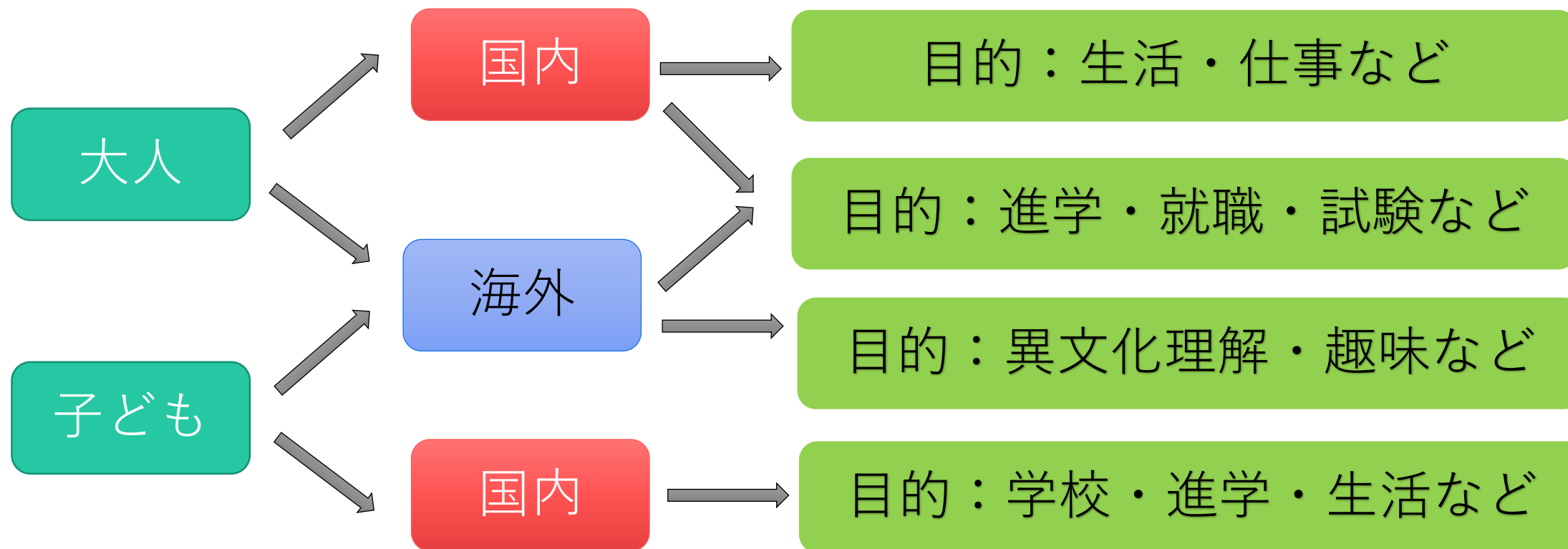
自らSNSで発信する、推しポスター・推し新聞を作って教室に貼る

意識する学習内容例：タイトルのつけ方、情報提供の書き方 など

2 リソースとしての教科書

2-1 さまざまな対象と目的に応じた教科書

- ・ 検定教科書はない
- ・ 対象者、場所、目的、レベル（日本語の習熟度）に応じたさまざまな教科書がある
- ・ 教科書によってねらいが異なる



2-2 日本語教科書の構成（シラバスデザイン）

シラバス： 教える内容。教える学習内容をリストアップしたもの。

- ① 構造（文型/文法）シラバス
- ② 場面シラバス
- ③ 機能シラバス
- ④ 技能（スキル）シラバス
- ⑤ 話題（トピック）シラバス
- ⑥ Can Doシラバス
（≡タスクシラバス）

どんな力をつけたいのかによって選択するシラバスが変わる

複数のシラバスの折衷もある

シラバス名	観点	特徴
構造シラバス (文型/文法)	目標言語が学習すべき文法項目という観点で整理される。具体的には「わたしはスミスです。」「これは本です。」のような文型が並ぶことが多い。	単純なものから複雑なものへ、易しいものから難しいものへ、のような積み上げ式になっている。
場面シラバス	目標言語が、使用される場面という観点で整理される。具体的にはレストラン、郵便局、銀行などの場面が含まれる。	レストランという場面で必要になる語彙や表現などが含まれる。必ずしも、文型が積み上げていくように配列されるとは限らない。
機能シラバス	目標言語がもつ機能という観点で整理される。具体的には「依頼する」「誘う」などの言語の機能から構成される。	「依頼する」という機能の中に「～てください」「～していただけませんか」などさまざまな表現が含まれる。
技能シラバス (スキル)	言語技能の観点から整理される。「聞く」「話す」「読む」「書く」の四技能から構成される。	「読む」の中には単語を読む、一文を読む、メニューを読む、新聞を読むなど、さまざまなものが含まれる。
話題シラバス (トピック)	話題という観点から整理される。たとえば「家族」「教育」「環境問題」などさまざまな話題が含まれる。	日本語学習者に身近な話題からはじめ、次第に社会性のある話題が取り上げられる。
Can-doシラバス (タスク)	目標言語を使って何ができるようになるかという観点から整理される。たとえば「友達を誘うことができる」「好きな食べ物について話すことができる」のような事柄が並ぶ。	コミュニケーション行動が重視され、特定の場面である行動ができるようになるために必要な語彙や文型を提示する。

2-3 構造シラバスの教科書例(1)

目次（文型リスト）一部抜粋

第1課

1. わたしはフイター・コンニです。

教科書掲載箇所

<https://www.3anet.co.jp/np/books/2300/>

出版社のサイトの
「立ち読み」ページからご覧になれます

1～25課

25～50課

3. わたしは家族と日本へ来ました。

2-3 構造シラバスの教科書例(2)

教科書掲載箇所

<https://book.alc.co.jp/book/b10107576.html>

出版社のサイトの
「試し読み」ページからご覧になれます

めやす 1冊：週4コマ（1コマ90分）×15週くらい

2-4 技能シラバスの教科書例（会話）

機能・
場面・
技能の

教科書掲載箇所

https://www.9640.jp/book_view/?983

出版社のサイトから
サンプルページがご覧になれます

おすすめを見る

https://www.9640.jp/book_view/?983 サンプルページが見られます

2-5 技能シラバスの教科書例（聴解）

目次

教科書掲載箇所

<https://www.3anet.co.jp/np/books/3703/>

出版社のサイトの
「立ち読み」ページからご覧になれます

<https://www.3anet.co.jp/np/books/3703/>

「立ち読み」からご覧になれます

3 既存の日本語教科書をクラスに応用する

再掲

既存の教科書のみに頼ろうとしても…難しい

- 1 教科書のボリュームが大きすぎて、授業時間内に扱えない
- 2 生徒の日本語レベルにちょうど合うものがない
- 3 教科書に載っている場面や語彙が生徒のニーズにあわない
- 4 先生が一人でモデル発話や解答解説をして生徒が自ら考えて表現する場面がない
- 5 教科学習に必要な日本語の力につなげるのが難しい

すべてを一気に
解決する魔法の
方法はないです
が、ひとつずつ、
一歩ずつ…！

3-1 ボリュームへの対応の一例

既存の多くの構造シラバスの日本語教科書（『みんなの日本語』など）は1冊を100～150時間（2冊で200～300時間、1課4～6時間）かけて学ぶように作られている。

1回50分の授業だとすると1冊につき240回～360回の授業が必要？！

それは無理！

ボリュームを減らさなければならないが、どの課やどの文型を選択したらいいかわからない

『高等学校の日本語指導・学習支援のためのガイドライン』の
プログラムB

「基礎日本語」の学習項目例
（33項目、3単位分を想定）

日本語基礎Ⅰ	わたし
基礎日本語Ⅱ	仲間
基礎日本語Ⅲ	学習

各学校の日本語指導の時間や生徒の力に合わせてさらに取捨選択

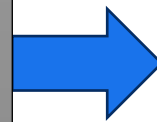
3-2 場面や語彙に対する対応の一例

れんしやう
練習B

教科書掲載箇所

<https://www.3anet.co.jp/np/books/2300/>

出版社のサイトの
「立ち読み」ページからご覧になれます



同じ文型であっても、
クラスメイトの名前や出身
国を使った練習に変更する



<https://www.3anet.co.jp/np/books/2300/>

「立ち読み」ページからご覧になれます

3-2 場面や語彙に対する対応の一例

教科書掲載箇所

<https://www.3anet.co.jp/np/books/2400/>

出版社のサイトの
「立ち読み」ページからご覧になれます



生徒の実際の持ち物を
対象に自由に会話を作る
練習に変える

架空の設定では
なく、「私」
「あなた」を対象
としたリアル
な場面設定を！

生徒が覚えて役に立ちそうな
語に変える

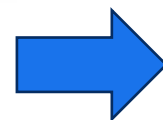
「すてき」より「かわいい」「お
しゃれ」がいい？
「ていただけませんか」は丁寧すぎ
るなら「てくれませんか」でいい？
(教科書の語彙は多すぎるので適切
に取捨選択を)

<https://www.3anet.co.jp/np/books/2400/>
「立ち読み」ページからご覧になれます

3-3 生徒のレベル差に対する対応の一例

教科書掲載箇所

<https://book.alc.co.jp/book/b10107576.html>
出版社のサイトの
「試し読み」ページからご覧になれます



同じタイトルでスピーチや
作文を書かせる場合、
各生徒のレベルに合わせた
分量・内容を求める



自分のことをよりよく・
詳しく伝えたい
と思える環境設定

生徒同士が伝
えあう活動と
教師も自らを
生徒に伝える
活動

<https://book.alc.co.jp/book/b10107576.html>
「試し読み」ページからご覧になれます

4 リソースの実践例(1) 留学生向け授業をケースとして

留学生向け 初級後半クラス での実践例 (1回100分)

『できる日本語初中級』第2課
話読聞書 「日本へ来てから買ったもの」

登場人物がスーパーで自転車を買うときにした失敗と、
買ってうれしかった、とても便利になった、という内容

- ① 話読聞書 の読解
(文法事項復習→音読→内容確認)
- ② 同じテーマで教員が自分のストーリーを語る
(まず語彙の確認→最初は聴解→スクリプトを見ながら聞く→内容確認)
- ③ 買い物をテーマにいろいろな会話
(最近買ってよかった物は何か、これから買いたいものは何か、現金を使うか電子マネーを使うか、ネットで買うか店に行くか、等)
- ④ 各自が自分のテーマで作文執筆 (宿題)
- ⑤ 次回の授業で互いに作文を読みあう & 質疑

教員の自己開示
(=リアル) が
生徒の自己開示を進め、
クラスで互いを伝えあ
う環境が出来上がる

自分を伝える作文
に必要な語彙は、
とても個人差があ
る

「買ってよかった物」 スクリプト

わたしが、買ってよかったと思うものを紹介します。私が、買ってよかったと思うものは、という電化製品です。は、自動で料理を作ってくれる鍋です。材料を切って、の中に入れて、ボタンを押すと、自動で料理を作ってくれます。私は、毎日忙しくて、料理を作る時間がなかったので、を買いました。いま、毎日を使っています。

でとてもおいしい料理ができます。には100種類以上のメニューが登録されているので、いろいろな料理を作ることができます。自分で新しいメニューを作ることができます。

は自動で料理を作ってくれるから、私は材料を切るだけです。のボタンを押した後、私は台所にいなくてもいいです。子どもたちと話したり、他の家事をしたりできます。だから、はとても便利です。本当に、買ってよかったと思います。

4 リソースの実践例(2)

留学生向け 上級クラス での漢字クラス 実践例 (1回100分×2)

『Intermediate Kanji Book』 vol.2

課ごとにテーマがあり、読解文とそれに関する漢字・漢字語彙を学ぶ。教科書に語彙などの詳しい説明あり。



- ① 漢字をつかったミニクイズ・ゲーム
- ② 今日学ぶ課の漢字について、各自が調べてきて発表 (数文字ずつ宿題として分担し、発表準備をしておく)
- ③ 各課の要点については教員から講義
- ④ 運用練習として、各自が宿題としてその課で学んだ漢字・漢字語が含まれた文章を作成し、次の授業で学生同士でシェア (共通した内容で)

抑

訓読み: おさ.える / そもそも

音読み: ヨク

漢字の構成: 手 + 卯

単語: - 抑圧
- 抑止
- 抑える

「おさえる」という動詞の漢字が多くて、一緒に使い分について話しましょう!

教員からの解説をただ聞くだけの授業にしない!

要修正箇所があれば教員から指摘する

テイ | にわ

庭

英語の garden という意味です。

でもガーデンだけではなくて、広場としての使い方もある。(校庭)

家庭	かてい
庭園	ていえん
校庭	こうてい

トピック：帰宅困難者とは

名前：

災害のために交通が麻痺(まひ)し、帰宅できなケースが発生

→家に帰れなくなった人＝帰宅困難者(帰宅難民)

- 路上にいと緊急車両が通れない
- 群衆雪崩(ぐんしゅうなだれ：人が密集しすぎて倒れること)のリスク



学校や職場で**被災**したら、3日間は待機

- 外で被災したら、まず集客施設や**避難**場所などで待機
- 企業は3日間の食糧(しょくりょう)備蓄(びちく)を求められている

* 家族や職場、学校などとの安否(あんぴ)確認の手段を確保

例

「第6課 地震の心得十か条」の時の宿題事例。
まず教員から宿題のモデルを示しておく。
(学生の提出物に対する添削は教員が行う)

スニーカー
モバイルバッテリー
薬などを準備
しておく！

学生は**ただ授業で教員の説明を聞くだけでなく**、同じトピックでウェブページを読んで、それを書き写したり、クラスでシェアすることによってその話題の漢字語彙を運用する

学生が作ってきたシートの事例。各自がクラスメイトとシェア。**学生の制作物が新たな「教材(リソース)」になる**

トピック：そのほかの災害からの身の守り方 台風・豪雨時の行動
名前

1. 最新の正しい気象情報を気にかけておく

2. 地域からの避難情報に理解・注意

• 段階：

• **警戒レベル5：緊急安全確保：命を守る**

すでに災害が発生している。指定緊急避難所に避難できない状況のため、自宅や近くの丈夫な建物に移動。

• **警戒レベル4：避難指示：全員避難**

災害が発生する可能性が高い状況。避難が必要な人は避難を開始。全員危険なところから避難。

• **警戒レベル3：**

• 高齢者等避難：災害が発生する可能性がある。避難に時間がかかる人は避難を開始。その他の人は避難を準備。

• 地下・半地下から避難の場合

• 危険を感じたらすぐ避難(避難所・3階以上の建物)

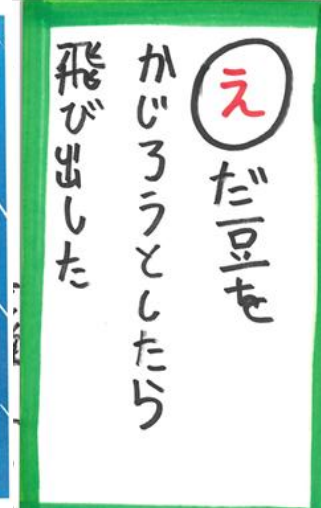
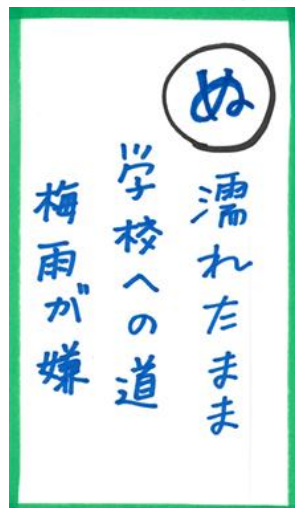
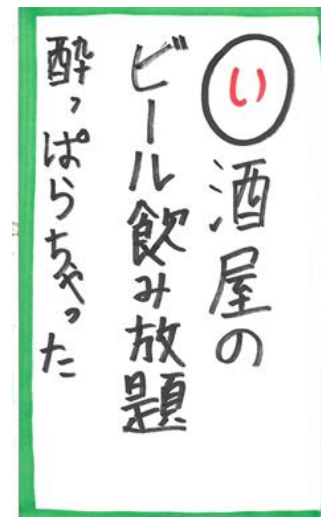
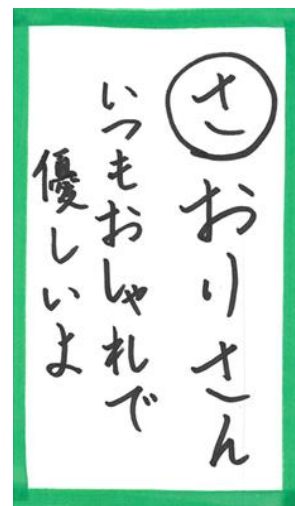
4 リソースの実践例(3)

留学生向け 上級クラス での 実践例 (1回100分×2.5回)

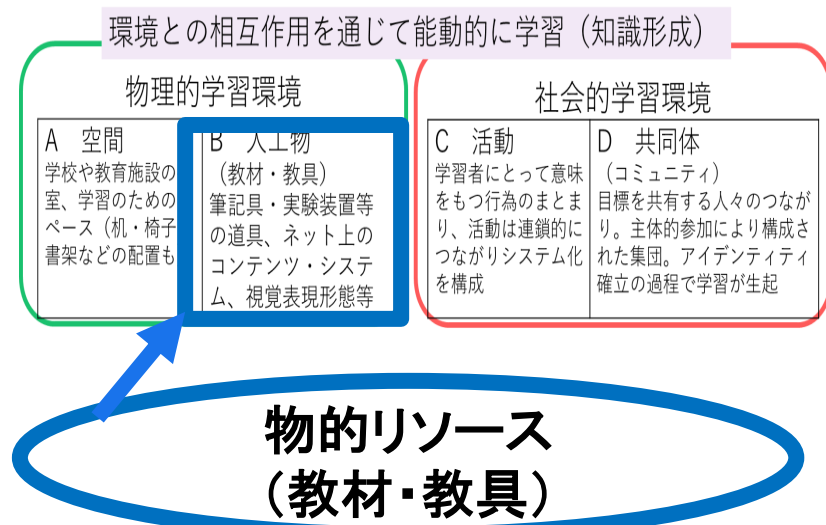
俳句の事前学習としても実施可能
「かるたを作ろう」



- ① いろはかるたを紹介。5・7・5のリズムを学び、みんなでかるたをやってみる
- ② 自分たちでかるたを作るために、いくつか練習する
- ③ かるたづくり
(クラスメイトで数文字ずつ担当。クラスメイトの名前で始まる文字は、そのクラスメイトについての内容にすることにする。かるたのテーマをみんなで決めて「留学生活」になった)
- ④ 絵を描くなどして仕上げる
- ⑤ みんなでオリジナルかるたをする



まとめ 学習環境として教材・教具をデザインする



期待される教材・教具のデザイン
生徒が教材・教具を通じて知識を得るのみならず、
相互作用的に働きかけ、その意味や価値を探究したり、
活用して新しいものを創造したりすることができる
よう内容・仕立て方・用い方をデザインする。
★学習環境の他の3要素と包括的にデザインを

- ◎経験や学習で培ってきた力、多様性・個性・関心を活かせる
自己肯定感・自己有用感・自律性を得る：学習への動機付けに
- ◎学び方を学ぶ ⇒ 自律的な学び手に
- ◎仲間と活動に参加し課題遂行のために日本語（母語等）を使う
他者・社会と関わり・問題を解決するためのことばの力を高める

参考：生成AIと教育者の補完関係

(木村守 20250703 東京学芸大学 フ)

教育者の強み

- ・人間関係の構築能力
- ・文脈に応じて柔軟な対応
- ・価値観や倫理の伝達
- ・創造性と批判的思考のモデル提示
- ・学習者の感情理解と動機付け

生成AIの強み

- ・膨大な情報への
- ・24時間対応の学
- ・個別化された説
- ・多様な視点の提
- ・反復練習のサポ

補完的關係

教育者は生成AIを活用することで、より高度な教育活動

- ☑生成AIは、基礎的な情報提供や個別対応をサポート
- ☑教育者はより深い学びや人間成長を促す

生成AIの利用

- 質問者としての利用
- 共同思考者としての利用
- 思考拡張ツールとしての利用



思考の質の向上

- ・言語化
- ・思考の拡張
- ・批判的評価
- ・統合と発展